

【常任委員会審査レポート】

各委員会に付託された議案等について、議会最終日に委員長が審査経過と結果を報告します。

議第6号 旧大崎中学校校舎棟解体工事請負契約の締結について
問 以前アスベストがあるとか分かってた施設の解体工事において、工事を進めていくうちにさらにアスベストが出てきて、かなりの金額を追加したことがあった。今回はそのようなことはないということを進めているのか。



答 選挙公報への指摘については、今後の課題としたい。
議第17号 平成30年度三条市一般会計補正予算
問 これまでに計上された業務システム開発等委託料は、数百万円に上ることも多かった。今回戸籍住民基本台帳費に



答 市負担分は約200万円増える。工事請負費の合計は約44億円となり、解体工事から外構工事、備品購入までを含めた全体の事業費は約55億円を見込んでいる。
議第17号 平成30年度三条市一般会計補正予算
問 工業流通団地の工事費は、なぜ大幅に増額修正することになったのか。



議第1号 三条市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部改正について
問 選挙期間と作成枚数を考えると現実的には新聞折り込み用のビラになると思う。同じ金を掛けるなら全戸配布する選挙公報の各候補者のスペースを大きくすることで公平性を担保でき、有権者から市政、選挙への関心を高めてもらうことにつながるのでは。

答 選挙公報への指摘については、今後の課題としたい。
議第16号 賛成多数で、その他は全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

議第8号から議第14号のスポーツ・文化・交流複合施設に係る工事請負契約の一部変更について
問 国が公共工事設計労務単価を改定したことに伴い増額する約2300万円のうち、国庫補助金等を差し引いた市の負担分はいくら増えるのか。また、変更後の「議決案件とならない契約分も含めた施設建設に係る工事請負費の合計」と「全体の事業費」はいくらになるのか。

答 市負担分は約200万円増える。工事請負費の合計は約44億円となり、解体工事から外構工事、備品購入までを含めた全体の事業費は約55億円を見込んでいる。
議第17号 平成30年度三条市一般会計補正予算
問 工業流通団地の工事費は、なぜ大幅に増額修正することになったのか。

答 市負担分は約200万円増える。工事請負費の合計は約44億円となり、解体工事から外構工事、備品購入までを含めた全体の事業費は約55億円を見込んでいる。
議第17号 平成30年度三条市一般会計補正予算
問 工業流通団地の工事費は、なぜ大幅に増額修正することになったのか。

答 造成工事に当たり、信濃川河川事務所との協議が、今年度はまだ大規模な搬入に至らないとして当初予算を計上していた。しかし、先方の事業進捗の関係から前倒しで搬入できることとなり、造成工事を進められることになったためである。

総務文教常任委員会 野崎久雄 委員長
選挙公報、各候補者のスペースの大きさを今後検討

市民福祉常任委員会 小林 誠 委員長
建設工事が進む スポーツ・文化・交流複合施設

経済建設常任委員会 山田富義 委員長
地場産センターのレストランを 地場が体感できるように改修

フレイル予防の推進について

問 フレイル^{※4}予防は、栄養、運動、社会参加の3つの柱がある。本市の取り組み状況はどうか伺う。
答 介護予防にも資するまちづくりを目指してきたスマートウエルネス三条の取り組みと相通ずるものとする。高齢者のライフスタイルやニーズ等を把握する高齢者100人インタビューを実施し、さらなる外出や社会参画を促す取り組みを検討している。

問 外務省が設置するジャパン・ハウスロンドンにおける燕三条工場の祭典を基軸とした企画展でどのような成果を期待しているか。
答 オープニングレセプションに参加したが、日本の関係者だけでなくイギリス国内の多くの方々



高齢者の社会参画を応援



ジャパン・ハウスロンドン展示会場

問 市内主要道路の現況を把握するため、主要ポイントに定点カメラを設置し、リアルタイムに情報発信したらどうか。
答 定点カメラを利用した情報発信は有効であると捉えており、官民が連携したスキームを含めて総合的に検討している。



8月6日の大雨による道路冠水状況

内水対策のため造られた 地下調整池の効果について
問 8月6日早朝の大雨で一ノ木戸ボプラ公園の地下調整池近辺で冠水が見られたが、今後の対策についてはどうか。
答 計画規模を上回る豪雨が多発しているため、今まで設置してきた施設を最大限に活用した雨水計画に見直し、今年度中に新たな計画を策定する。

からも参加いただき盛大なスタートを切れた。その後多くの来場者があり、海外販路の開拓につながるかと期待している。

※3 英語で外見・容姿の意
 ※4 健康な状態と日常生活でサポートが必要な介護状態の中間の状態にあること